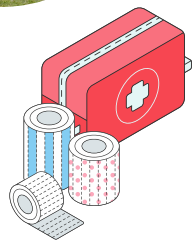
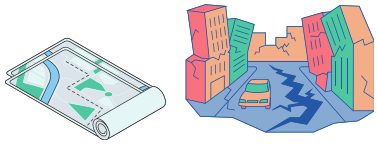
2026年度「関大の研究を体験する」社会安全学部セミナー

人々の安全を科学する

ー触れ、試し、学際的に学ぶー

安全と安心は現代社会の重要なキーワードです。
そして、法律、経済、土木といった単独の学問では解決が難しい課題が社会には山積みです。
社会安全学部では防災、事故防止、健康などの幅広い分野を、このキーワードのもとで学びます。
本セミナーでは大学の学びを講義・演習・実験という異なるスタイルで体験していきます。





9月19日（土）
13:30-17:10

会　　場	関西大学高槻ミューズキャンパス
対　　象	高校在学生 （既に卒業された方で、大学進学を希望する方も可）
定　　員	60名（申込多数の場合、抽選）
申込締切	9月4日（金）
参 加 費	無料

申込みはこちら

申込方法・注意点

●本セミナーは高槻ミューズキャンパスで実施します。千里山、高槻、堺、吹田みらいキャンパスとは実施キャンパスが異なりますのでご注意ください。

●参加希望の方は、上記QRまたは関西大学高大連携センターHPの「セミナーのイベント情報」内にある本セミナー申込みフォームに必要事項を入力の上、送信してください。

●申込締切後、申込者全員に受講可否を通知します。実施日の3日前までに通知が届かない場合は、高大連携センターまでお問い合わせください。

●自然災害等の事情により、当日やむを得ず中止または変更となる場合があります。

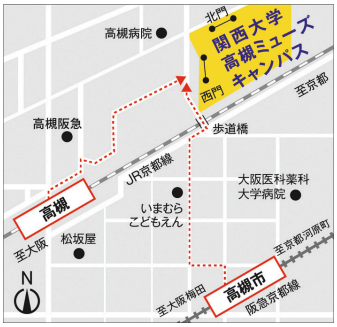
●申込み時に入力いただいた個人情報は、各種セミナーのご案内の目的のみに使用します。

●セミナー中に事務局で写真撮影をして、各種広報媒体等で公開することがありますので、予めご了承ください。

アクセス

〒569-1098
大阪府高槻市白梅町7ー1

▶JR京都線「高槻」駅から徒歩約7分
▶阪急京都線「高槻市」駅から徒歩約10分



schedule

学部紹介 13:30 ～ 13:50（20分）

講義 13:50 ～ 14:50（60分）

感じて、考える（安全と地震学）

社会安全学部 教授　林　能成

2024年8月に国から南海トラフ地震臨時情報が発表されました。宮崎県では被害が出ましたが、大阪など関西では小さな揺れすら感じられませんでした。なぜ、こんなに広い範囲で地震に備えることが呼び掛けられたのかを、中学・高校で習う地震の知識の「少し先」を踏まえて解説します。

演習 15:00 ～ 16:00（60分）

見て、話す（災害心理学）

社会安全学部 教授　元吉 忠寛

あなたは、災害時に避難をした経験がありますか。例えば、台風が接近してきたときに、私たち市民や行政にはどのような判断や対応が求められるのでしょうか。体験型ゲームを通して、緊急時の判断の仕方やコミュニケーションの大切さについて考えてみましょう。

実験 16:10 ～ 17:10（60分）

触れ、試す（安全と地盤工学）

社会安全学部 教授　小山 倫史

地盤災害（斜面の崩壊や地震による液状化など）に対する防災・減災対策においては、まず、災害発生のメカニズムを理解する必要があります。本講義では,実際に土に触れてみることで、地盤の性質を理解するとともに、簡易な模型実験をとおして、災害発生のメカニズムから防災・減災の対策を考えてみましょう。

※スケジュールおよびプログラムは変更する場合があります。

関西大学

【お問い合わせ先】　社会連携部　高大連携センター
〒564-8680　大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL：06-6368-1184　MAIL：koudai@ml.kandai.jp
FAX：06-6368-0858　HP：https://www.kansai-u.ac.jp/koudai/

HP
Instagram
KANDAI_KOUDAI_RENKEI